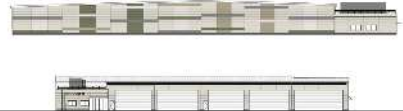


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)LOG'Q厚木三田計画 [西棟]	階数	地上1F
建設地	神奈川県厚木市三田字下川原2395-1 他	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	18 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年11月 予定	評価の実施日	2024年8月19日
敷地面積	6,189 m ²	作成者	コンストラクションマネジメントジャパン 株式会社一級建築士事務所
建築面積	3,607 m ²	確認日	2024年9月1日
延床面積	3,652 m ²	確認者	株式会社 加賀田組東京支店一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ BEE: ★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

音環境	N.A.
温熱環境	N.A.
光・視環境	N.A.
空気環境	N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.7

機能性	N.A.
耐用性	3.1
対応性	4.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 0.0

建物外皮の	N.A.
自然エネ	N.A.
設備システ	N.A.
効率的	N.A.

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

水資源	3.4
非再生材料の	2.8
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

地球温暖化	N.A.
地域環境	3.3
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
倉庫業を営む倉庫として、対応性・更新性に優れた建築物として設計されている。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能
	空間、荷重にゆとりをもった設計を行い、将来的な変更に対応できる建物としている。ケーブルラックの採用により、電気・通信配線の更新性を高めている。
Q3 室外環境(敷地内)	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル
	節水コマに加え、節水型便器、自動水栓を採用している。下地にLGSを採用、再利用できるユニット部材を採用し、部材再利用の可能性を高めている。
LR3 敷地外環境	燃焼機器を不採用とし大気汚染防止に努めている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される